
ミクル
ミラクル
ADULT ONLY.


ミクルミラクル!



ハルヒ「ほらほらみくるちゃん、診断のお時間ですよ」
みくる「ひゃあぁっ…」

…どっちかというと立場が逆じゃないのか?

ハルヒ「そんなのこの際どうでもいいのよ。さあみくるちゃん、どこがおかしいのかな～?」
みくる「ひゃ、どこも、おかしくないですぅぅ、はぅ」
ハルヒ「そんなはずないでしょ?このおっぱいとか、今にもはち切れちゃいそうじゃない?」

おいおい…朝比奈さんはいたって健康だろ、っていうかそれなんの病気だよ。

ハルヒ「うっさいわねー。みくるちゃんは大変なコトになってるのよ。このでっかいおっぱいからはミルクが溢れだして噴きだして、下半身は疼いて疼いて、男に犯られまくって、なかに注ぎ込まれまくらないと満足できない病気なのよ」
みくる「……!!!そそそ、それは病気じゃっ…」

そんな病気あるか!

ハルヒ「あるわよ、私が今発見したわ」

滅茶苦茶だ、頭痛がする…。



ぱたん。

長門が本を閉じた…SOS団、本日は終了。

ハルヒ「今日も何もなかったわね・さっさと帰るわ。」



着替えなくてはいけない朝比奈さんを残して全員部室を後にした。

部室に忘れ物をした事に気付いたので引き返した。
朝比奈さんももう着替えて部室を出た頃だろう。

誰もいないと思いこんでいた俺は、何気なくドアを開けてしまった…。


ガ
びくびっ
!!
チャ
キ…きれいで…
…え？


またハルヒか…
なんで…
しゅーん…
どーしたもんか…


男に犯ら
!!
お願い…


でもっ…
…こんなこと…キョンくんにしか頼めない…
そんな顔で見られたら…
すみませんッ
きゃ…う
わしっ


ほんとにミルクが…しかも濃い量ですね…
はっ
はっ
ぴゅ
…出るとき感じたりするんですか？
や



本当ですか？
あ♥
ぴゅっっ♥
あっ 出っ♥
や♥
・・・？
ハルヒのせいでこうなってるだけなんですから
無理しないでいいんですよ？




…気持ちいいです
とんでもない事になってしまった…
いいよ…キョンくんのミルク飲ませてください♡
う
朝比奈さんにこんなことされたら…もちませんっ…ッ


ぐッ
射精…ッ
ぐぐ
!!
ん
んく…
ふぁ♡
あつあつのミルク…ッ♡
ごくんっ
ごくん
ごくん!
んっ
おいし…♡


…たまらんっ
あ・・
きゃんっ
じゃあ朝比奈さんももっと気持ちよくなりましょうか


すごい状態になってますよ？
だって…凄くイッちゃったから…
でも…まだ…
わかってますよ
びくんッ
きゅう
たっぷり可愛がってあげますから…
はい…♡お願いします♡


う
んん♡
朝比奈さんの
おまんこを
いじれる日が来るとは
思いませんでしたよ
キュ〜ッ
嬉し…い
キョンく…♡
想像以上に
可愛くて…
最高ですよ…


あっ…
い、いいです…
そんなに気持ち
いいんですか？
エロい顔して…
もう挿入れて欲しくて
ヒクヒクしてますよ
うん・
欲しいの
…っ
じゃあ、おねだり
してください


…わっ
はっ はっ
挿入れるだけですか？
は
は
可愛がってください♡

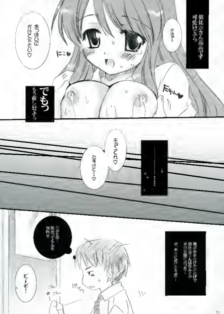


は…
や、違…っ
あっ
うう…
きゃうっ
だ、めろっ…もうっ…
奥まで、挿入れて…っ


だって…ッ
今…、自分で
挿入れましたよね？
きもちいぃ…
ミルクも
ぬぽッ
ぬぽっ
ぬ"ぐ～～っ
ぬっ


あぁ、あっ イク…イクッ
わたしも、もう イク…からぁ
きてるっきてるっ
やぁあ


ほら
きてくれた…
はぁ
はぁ


朝比奈さん最高です
可愛いですっ
おっぱいにかけて下さい♡
でもっ
ハルヒめ…遠慮ってもんを知れ
どーぞ!
こん こん





なにをしてらっしゃるんでしょう。

ハルヒ「聞いてよみくるちゃん、また新しい病気にかかっちゃったんだから!」

みくる「かかか、かかってないですぅうぅぅ…」

・
・
・



■こんにちは、天暉です。

■今回はハルヒのみくる本です。

■前からハルヒは気になってたんですが、ライトノベルを読んだ事が無いのでなかなか手を出す機会がなくて。アニメが始まったんですが、うちには地上波アンテナが無いので映らない（笑）。でもこれを機会にと小説を読んでみる事にしました。ＴＶでは３巻分くらいの内容らしい？ので、とりあえず３巻まとめて買って、仕事の合間をぬいつつ一気読み！

■というわけで、この本は３巻目までの設定で作られてます。もし設定がおかしいところがあっても大目にみて下さい（´Д`）

■やはりお気に入りはお着替え＋巨乳＋可愛い！と揃ったみくるです(*´∀`)
みくるといえばメイドかウェイトレスみたいですが、私は断然ナースをおします！！でもウェイトレスもかなり可愛いです――結構迷ったんですが、ウェイトレスは描く人いっぱいいそうなので、ここは持ち味のマイナー路線でナースに決定（苦笑）。

■描くぞー！と気合いいれたのはいいんですが、アニメを見てなかったので、資料は小説の挿絵が全てで、いまいちイメージがかたまり切らず。。描きながら小説の中の描写を探したりネットで画像を探してみたり。数ページ描いた所で、知人に録画したアニメを見せて貰う事が出来たのでなんとかイメージがかたまってきました。結構アニメの方では印象が違ったりもして（特に絵的に）みくるはかなりロリっぽさが強調されてて焦りました（・∀・）私の方ももう少しロリっぽくしても良かったかも。。でも一番難しいのはキョンです。アニメ見る前に描いてた分を描き直したりしましたが、それでもうまく描けない。。

■しかも相変わらずデジタル作業がうまくいかず消えたり何度もやり直してたり、アナログ作業の方も画材を変えてみたりと色々やってて、作業ペースが落ちまくり。もう少し早く出来るはずのこの本も、結局ギリギリになってしまいました。なんか誤植とかありそうで心配。

■アニメ自体は『絵く音がついた小説』という印象なので、もう少し絵や動きで表現する部分を増やして欲しいなあ。あと時系列がバラバラで、小説読んでないとほんとワケわかんない気が（汗）。良かったのは長門！小説だけの時はどうでも良かったんですが、アニメ見るとなんか可愛くなってきました。特に、図書館に行った時の歩き始めたシーン。あの変な動きがなんか可愛かったです。あとカーディガン着てるのが可愛い～～。寒くなってきたらハルヒ達も着てるみたいですが、ひとりで着てた時に似合っててときめいた(*´∀`)長門も折り返し本とかで描きたかったんですが、今回は時間切れ。あと大人みくるも良いし、鶴屋さんも気になるわぁ。

■まだまだ仕事の方も修羅なので、一段落ついたら合間をぬって小説の続きを読みたいです。

■その仕事ですが、６月２０日と２３日にそれぞれ単行本が出ます！詳細はサイトの方にありますので、見てみて下さると嬉しいです。あとは毎月ポプリクラブに漫画を描いてますので、そちらもよろしければ。

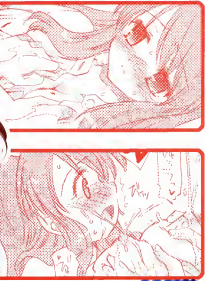
■ではでは。

「ミダレミラクル」

2006.06 (NO 34)

発行:P.S.(天嶋みとの)
印刷:サンライズ

http://sak.bambino.jp/



P.S.2004.